

○総合評価落札方式（土木一式工事の場合）の比較表（令和7年6月以降）

区分	標準型		簡易型							
			施工計画型		実績確認型		簡易実績型			
対象工事	WTO対象工事 (予定価格 27.2 億円以上)		設計金額 2 億円以上 (※は実績確認型を適用)		設計金額 5 千万円以上 2 億円未満		設計金額 1 千万円以上 5 千万円未満			
基礎点	入札参加資格を満たす場合	100点	入札参加資格を満たす場合	80点	入札参加資格を満たす場合	80点	入札参加資格を満たす場合	80点		
施工体制 確認点			品質確保の実効性 (10点) 施工体制確保の確実性 (10点)	20点	品質確保の実効性 (10点) 施工体制確保の確実性 (10点)	20点	品質確保の実効性 (10点) 施工体制確保の確実性 (10点)	20点		
評価項目	○技術提案 (90点) ・総合的なコストの縮減に関する技術提案 ・工事目的物の性能、機能の向上に関する技術提案 ・社会的要請への対応に関する技術提案		○施工計画 (90点) ・施工上配慮すべき事項 ・工程管理に係る技術的所見 ・品質管理に係る技術的所見							
			○企業の施工能力 (50点) ・同種・類似工事の施工実績 ・工事成績評定点 ・優良工事表彰歴 ・生産性向上の取組 (ICTの活用)				○企業の施工能力 (50点) ・同種・類似工事の施工実績 ・工事成績評定点 ・優良工事表彰歴 ・生産性向上の取組 (ICTの活用)		○企業の施工能力 (10点) ・同種・類似工事の施工実績	
			○配置予定技術者 (20点) ・同種・類似工事の従事経験 ・主任 (監理) 技術者の資格 ・継続学習 (CPD) の取組み				○配置予定技術者 (20点) ・同種・類似工事の従事経験 ・主任 (監理) 技術者の資格 ・継続学習 (CPD) の取組み		○配置予定技術者 (20点) ・同種・類似工事の従事経験 ・主任 (監理) 技術者の資格 ・継続学習 (CPD) の取組み	
			○技術力の継続的な確保 (25点) ・設備等施工体制 ・災害時の事業継続力 ・県内下請業者の活用 ・若手技術者等の育成				○技術力の継続的な確保 (25点) ・設備等施工体制 ・災害時の事業継続力 ・県内下請業者の活用 ・若手技術者等の育成		○技術力の継続的な確保 (20点) ・設備等施工体制 ・災害時の事業継続力 ・県内下請業者の活用	
			○地理的要件 (15点) ・本・支店・営業所の有無				○地理的要件 (15点) ・本・支店・営業所の有無		○地理的要件 (15点) ・本・支店・営業所の有無	
			○地域貢献度 (31点) ・災害対応等への協力体制及び実績 ・公共土木施設愛護事業参加実績 ・年間維持工事等の契約実績				○地域貢献度 (31点) ・災害対応等への協力体制及び実績 ・公共土木施設愛護事業参加実績 ・年間維持工事等の契約実績		○地域貢献度 (31点) ・災害対応等への協力体制及び実績 ・公共土木施設愛護事業参加実績 ・年間維持工事等の契約実績	
			計 120点				計 120点		計 110点	
意見聴取項目	技術提案		施工計画							

※ ①在来工法による建築耐震改修工事、②災害復旧工事、③技術的難易度が低く、簡易な施工計画を含む技術提案を評価することが適当でないと認められる工事